



上島町

議会だより

No. 10

2007年12月

編集 上島町議会広報編集委員会

発行 上島町議会

〒794-2592 愛媛県越智郡上島町弓削下弓削210番地 TEL 0897-77-2500



町長・議長・副議長の国土交通省要望活動

9月20日(木) 東京 写真右から2番目は、国土交通大臣政務官 山本順三氏

主な内容

- 一般質問 2~4 P
- 意見書提出 5 P
- 財政状況・議員定数 6~7 P
- 議会の活動 8 P

9月定例議会

一般質問

9月26日に招集された第3回定例会において、9名の議員が一般質問を行いました。質問内容と答弁の要旨は次のとおりです。

(掲載の順序は質問順で、記事の内容は基本的に質問議員が編集しています。)

濱田勝祐議員



住民からの議員定数 に関しての要望書の 説明は

Q 上島町の議員定数について町長宛にも要望書が届いているはずですが住民の意志に基づいて事

務処理を行う住民自治があり、住民に説明責任があるのでは。

A (上村町長) 今回問題は「信義」に関わることであり「合併協定書」の作成の意味と重さを忘れてはなりません。合併協定書には合併後の方向や目標が示されており、その同意の上に複数の代表者が調印し町村合併が成立しました。その中の八番目に謳われている「町村議会議員の定数及び任期の取り扱い」において2回目の選挙の事まで約束されており「設置選挙では旧町村四地区の選挙区とするが次の選挙では選挙区を設けない。但し魚島については一人確保できるよう配慮する」とあり、一人確保するには魚島を特別区とした2つの選挙区で選挙を行うと言う事です。信義や約束を破るのであれば町民である子供達に対してどのような言い訳をするのか、大人としての責任を果たすべきであると考えております。議員は町民の代表として活動されて

いるわけですから町民の意志は尊重されるものです。

Q 条例の改廃は住民に発案権、直接請求による制定改廃の提案権を認められています。住民に条例改正に参加させないのは民主主義の根本を揺るがすものであると思う。

土居計彦議員



イノシシによる農作物被害への対策を問う

Q 8月以降、大切に育てたサツマ芋をイノシシに食われてしまったという悲痛な声が多く聞こえてきます。以前は山際の畑が被害に遭っていましたが、最近では民家の傍の畑まで荒らされるようになった。夜も明るい県道近くの畑でも被害がでた。人の被害が起る前に何とかしなければなり

ません。継続的な鳥獣対策が必要です。農作業に頑張っている人達に町の対策を説明してあげて下さい。

A (村上産業振興課長) 今年度予算で箱罨4個を購入し、捕獲の予定をいたしております。11月中旬には銃器による捕獲を実施する予定です。今治地方局の事業でイノシシの生態や被害の改善方法、被害を受けにくい作物の計画的栽培の検討、実証園での浸入防止柵を設置し効果の検証を行い、農家が出る自衛防

御策を考えて、12月補正予算で補助金交付要綱を制定し、対応するよう計画しています。

上島町議会議員定数削減について理事者の考えを尋ねる

Q 議員定数削減について、住民の要望が高まっている。議会内部で半年の間、削減を議論してきたが集約できなかつた。次回選挙からの定数減を期待される町民の皆

様には申し訳ない。町外に向けても早く発表したい。そこで本定例議会に定数削減を求める議案を議員提案する。町としても、行財政改革を進める中で人件費軽減は必要。総合的に判断してみても、議員定数は何人が適正と思うか又、職員の適正人数はどうか。

A (上村町長) 松前町は人口が3万人を超えているのに、定数を14にしたことや、上島町民の意志を参考にすべきであると考えています。行政側も「合併協定書」や町民、議会からの要請を受け、職員の削減をはじめとする「経費の削減」に努めておりますことをご理解いただきたいと思

います。

A (山下総務課長) 上島町の職員については、定員適正化計画に基づき、平成21年度末で26人減の233人を目標に努力しているところです。



松浦明広議員



上島町総合防災訓練について

Q 9月9日上島町総合防災訓練を見学し、訓練に参加した地域住民及び関係者の皆様ご苦労様でした。

①今回の訓練も弓削地区開催で弓削地区住民の防災に関する知識の普及、啓発は図られたと思うが今後他地区の開催は考えているのか。

②大規模災害になれば各支所も甚大な被害が起こっていると思われ。各支所少人数で通信、災害広報、パトロール、救助救出、避難所開設、給水、防疫等出来るのか。

③自主防災組織の達成率は。

④今回の訓練の評価課題 A (上村町長) 今後は自主防災組織を中心とした

地域防災訓練を行いたいと考えております。

A (宮川消防長)

①今年度、下半期においては他地区での実施は考えておりません。来年度は南海地震を想定した全地区対象の避難訓練を防災週間の前後に計画しております。

②上島町地域防災計画には弓削以外の各支所においても各課の役割分担が明記されております。しかし、支所の職員だけでは活動は、困難であるため、支所間での職員の応援調整をはじめ、地区住民や自主防災組織、消防団との密接な連携による災害対応が不可欠であります。

③9月1日現在で42.9%で愛媛県下20市中17番目です。

④防災の基本は、自分の命は自分で守る「自助」と自分たちの地域は自分たちで守る「共助」です。実際に大規模災害が発生した場合には、シナリオやマニュアルどおりにはいかないのが今後、より実践的な防災訓

練の実施や訓練の主体場が弓削地区に偏っているため、他地区においての実施の検討そして各島間における防災意識の温度差の解消に向けた全地区における一日も早い自主防災組織の立ち上げ、更には、消防団との密接な連携強化体制の構築が不可欠であります。

宮脇政敏議員



就学前の児童の医療費の完全無料化を！

Q 現状は外来3歳迄入院7歳迄となっている。自治体の負担割合は定まっていなが近く全県的に準備が進んでいる。上島町の将来を担う少子社会の中で児童の育成は基本になると思う。早期実現を。

A (村上住民課長) 現在外来は3歳迄、入院は6歳迄となっているが一部

負担をした場合は助成している。県も検討中だが負担額や所得制限の見直しを検討中である。

岩城、赤穂根島のフェリー接岸施設の早期修復を！

Q 南北16.5m、東西7m(+)6mのフェリー接岸施設の斜路が老朽化し側壁は12cm、穴も20~30cm開いて中のグリ石が波で流出している。今なら鉄金を入れコンクリート修理をすれば数百万円位で復旧可能と思う。台風等で倒れたら数千円位かかると思われる。予算の節減につながり農家は毎日この斜路を利用して早急の修復を望む。

A (上村町長) 具体的な事案でありますので担当からお答えします。担当から写真を撮って見ておられます。

性があるので現地測量し補修を検討したいと思っています。

原博彦議員



下水道汚水施設の管理等について

Q 平成17・18年度の町内の下水道、汚水処理施設別の管理委託料等を一覧表で示して欲しい。

A (山本上下水道課長) お手元に配布させていたいただきました各施設ごとの一覧表のとおりでございます。

と同じは4施設のみ。他の7施設の管理委託料が決算書の数値と異なっているのはなぜか。

A (山本上下水道課長)

下水道施設維持管理積算要領に基づき積算したので、汚水処理その他計装機械等の定期検査、点検料は含んでおりませんので金額が違ってきております。

Q 今後は汚泥処理等を含む維持管理の全てを示して欲しい。また(有)カミジマネー・ジメントが11施設中6施設管理しているが、契約に至るまでの経緯は。

A (山本上下水道課長)

業者の選定方法は公共下水道特別措置法により対応し、要領に基づき実施設計書を作成し、それにより予定価格を決定し、見積りで業者決定を行っている。

岩城地区学校給食センター改築について

Q 平成20年度に岩城地区の学校給食センターの

改築が予定されており、現在の給食センターを取りこわしてその場所に建設すること。建設期間中の給食の対応は。

A (藤川教育長職務代理)

建設期間中は弁当を持参していただくということで、4月の岩城小・中学校参観日・PTA総会の席で周知させていただきます。

Q 4月の周知は説明のみで保護者の意見を聞いていないのでは。生名・魚島地区の給食は弓削より搬送すること。仮設を含めいろいろ検討すべきでは。保護者の皆さんの意見をよく聞いてやってみてほしい。

A (藤川教育長職務代理)

施設的にも機能的にも船便での搬送も含めて物理的に無理であるという結論に至っております。改めて保護者の皆様にご説明申し上げ理解していただきたいと思います。





CATVの運営と今後の方針について

Q ケーブルテレビの放映について、岩城、生名住民の殆どが、あまりメリットも恩恵も受けていない。その事業運営費等に過去3年間で1億4200万円、今年度も5600万円余の繰出金を予定、更に今後10年間の長期計画でも施設の管理運営起債の償還等々10億円余の一般財源が必要となる見通しである。上島町全世帯（岩城・生名）が平等に情報システム通信が配信できるよう放映を望んでおり今後の方針をお伺いしたい。

A（上村町長） ビデオテープの貸出しやDVDレンタル、出演者への提供等現状で出来る限りの手を尽くしております。ケーブル

テレビ以外にも旧町村で方針が異なっていた為公平でない事例が未だ数多く残っていることから順を追って解消していくべきだと考えております。

A（村上企画情報課長）

通信、放送の両面から情報通信格差の是正を図るべきだと考えております。自主制作番組の縮小を行い独立採算運営を行うべく経営のスリム化を目指し、全地域で受信できる方法を検討中でございます。

平山和昭 議員



町財政の現状について、どう町民に理解を深めてもらうのか。

町職員の公務員としての自覚はまだ十分ではないのか。

（2問の一般質問をされ

ましたが、本人の希望で内容掲載は割愛させていただきます。）

原山公男 議員



稲浦峠の改良を急げ

Q 稲浦峠の東側斜面は危険な状態のまま、長らく放置しているため風化が進み、現在、上島町で最も危険な道路と思われれます。地区懇談会の後、どう対応して来たのか、地権者の一人に快諾していただいていることを申し上げておきます。

A（柏原生名総合支所長）

30年余りの間、旧生名村時代から懸案となっていた所でこの改良事業が長きに渡って手がつけられず、ネックとなっていたのは、用地の確保と財源、特に用地の問題であったと思います。現在、まちづくり交付金事業5ヶ年計画の中に「町

道稲浦幹線道路事業」として計画登載され来年度に測量設計、21年度事業実施の予定で進めております。この事業の実現のためには、用地確保が大前提となりますので、引き続き御協力をお願いいたします。

寺下満憲 議員



住民に十分な説明責任を果たせ

Q 岩城、生名両地区で下水道使用料の徴収漏れが新聞報道されました。未徴収は、2005年8月から2007年3月までの一部世帯だそうですが、この問題については、2005年度6月定例議会でも私が一般質問で「まとめ取り、未徴収がありません」と警鐘しました。町長は当時の答弁として「利用者のまとめ取りについては、寺下議員

のご指摘のように理由、説明を行うことが職員として仕事のルールであります。今後は、このようにことが起きないように仕事をしてまいります。」ところで、この事態を招いたことを内部調査して、住民に説明する必要はないのか答弁を求めます。

A（上村町長）

一度指摘されたにもかかわらず、職員からの報告があった時点から内部調査を行い、現在の担当職員或いは他の課の協力による迅速な対応により、ほぼ100パーセント徴収となりましたが任命権者としての責任を痛感しており、ご迷惑をおかけした町民の皆様にご心からお詫びを申し上げたいと思っております。

子育て支援を急げ

Q 平成18年度4月に上島町子育て支援協議会から5項目の提言が提出されました。出産に関する妊婦への交通費の助成等は実施され喜ばれていますが他の項目について

は今後どのように進めていきますか。また、放課後の子供の安全と成長についての事業はどのようなように進められていますか答弁を求めます。

A（村上住民課長）

一番目の出産に掛かる妊産婦への交通費助成、二番目の不妊治療にかかる交通助成につきましては通院交通費1回につき5000円を上限として実費の1/2を助成してまいります。三番目の保健センターが行う育児教室を年2回開催してほしい件については実施してまいります。四番目に町内遊休地を活用し分譲地等の確保については、産業振興課で定住対策の一環として空き家バンク制度を計画してまいります。五番目のせとうち交流館のビデオ本の貸出しについては各支所の公民館等で貸出しを実施してまいります。放課後の子供の安全と成長についての事業は、上島町のような小規模町では難しい事業で実施については困難であると考えております。

意見書提出

地方の道路整備財源の確保に関する意見書を提出いたしました！

9月27日定例議会最終日に意見書提出の案件が提案され、全会一致で可決いたしましたので、10月1日付けの意見書を衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、国土交通大臣、経済財政政策担当大臣に提出いたしました。

意見書の内容は次のとおりです。

地方の道路整備財源の確保に関する意見書

道路は、人や物の流れを支え、経済、社会活動の根幹となる重要な社会資本であり、また、納税者である国民の誰もが沿道の住民であり、かつ、利用者であり受益者であるという、最も生活に密着した社会資本である。

特に、本県は、道路交通への依存度が極めて高く、高齢化の進展が著しい地域においては、道路整備の遅れが地域コミュニティの崩壊をも招きかねず、そこに暮らす人々が活力に満ち、安全で安心して快適な生活が送れる地域社会を実現するためには、高規格道路から市町道に至る道路網の整備が必要不可欠である。

しかしながら、本県は地理的、地形的な制約もあり、国・県道の改良率は全国と比べて20年以上も大きく立ち遅れており、特に市町道に至っては、改良率が47.0%と、著しく整備が遅れている現状にある。また、高速道路の整備も4県都が結ばれはしたものの、四国の基本的な骨格である8の字ルートの形成にはまだまだ道半ばであり、ネットワークとしての連続性が確保されておらず、機能を十分果たしていない状況にある。特に南予地方においては、鉄道もなく道路が唯一の輸送手段であり、今世紀前半に発生する可能性が高いといわれる東南海・南海地震に備えるためにも、この整備は急務となっている。

本県の市町村は、平成の大合併により、それまでの70市町村から20市町へと、自治体の生き残りをかけ進められてきたが、すでに合併後の自治体内にも格差が生じ始めており、東京や大阪などの大都市圏との格差拡大と相まって、道路整備の遅れは、地方発展の大きな障害要因となるのではないかと大変危惧している。

こうした中、国においては、道路特定財源の見直しの中で、19年度予算においては、1806億円が一般財源化されたところであり、さらには、今年度末に道路特定財源制度そのものを抜本的に見直すものと聞いており、道路整備が遅れている本県のような地方にとって、到底容認できるものではない。

よって、国においては、地方に住む者の声や道路整備の実情をよく把握し、その重要性、緊急性を十分認識され、道路特定財源については道路整備の財源として確保し、遅れている地方の道路整備を引き続き強力に推進するため、地方への重点配分を強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成19年10月1日

愛媛県上島町議会

上島町の財政状況について

上島町が抱える140億の赤字財政などの風聞等が先行し、町民の皆様方にご心配や不安を抱かせる事態が発生いたしました。

そこで、議会では、理事者からの詳しい内容説明などを受けて、議員各位の理解と意思統一を図ることといたしました。

また、町民の皆様方におかれましても、上島町の財政状況について、愛媛県内でも中位にあり、北海道Y市のような財政破綻を起こすような現状ではないことをご理解いただき、引き続き町政にご協力を賜りますようお願い申し上げます。

参考までに愛媛県が公表した県内市町の「財政分析指標クロス表（平成18年度決算）」（下表）をご参照ください。

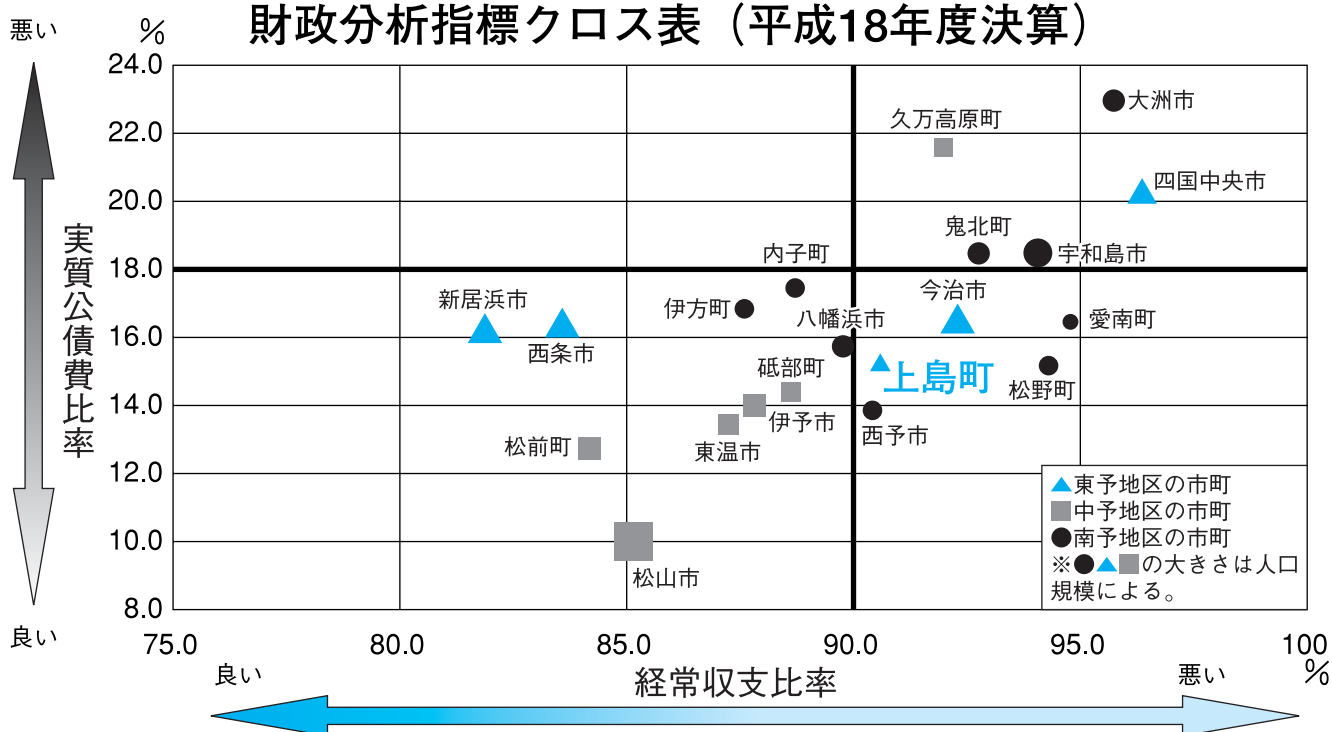
平成18年度末の上島町の起債（借入金）の未償還残高（借金）は141億6182万1千円（約142億）です。このうち約66パーセント

（約93億）は普通交付税に算入され、国から交付（収入）されますので、実質の借金ではありません。また、家庭では預金に当たる基金と呼ばれるものも38億6634万8千円あることなど、健全財政のもとで行政需要を満たす不断の努力をしていることをお知らせいたします。

起債（借入金）は、愛媛県内トップの下水道普及率を誇る施設整備など、上島町の社会資本充実のための、住民生活に必要な学校施設、福祉施設、運動・公園施設、上下水道施設、ごみ処理施設などの建設費用として、借入れ使用したものです。

市町村の人口規模の大小を問わず、借金（借入金）が無いことのみが良いのではなく、住民生活向上のためには、有効な行財政の投資等も必要であることをご理解いただきたいと思います。

財政分析指標クロス表（平成18年度決算）



議員定数等について

現行継続：議員定数18名

(弓削7名、岩城5名、生名4名、魚島2名)

上島町議会では、平成19年1月26日(金)第1回全員協議会を開催し、議員定数等について本格的な検討・協議をスタートさせ、9月27日の定例議会において、議員提案による条例制定に至るまで、計8回の全員協議会での慎重審議を重ねてまいりました。

結果につきましては、現状どおり、定数(18名)と選挙区選挙(弓削7名、岩城5名、生名4名、魚島2名)とすることに決定いたしました。

次回の一般選挙(任期満了：平成20年11月6日)は、旧町村ごとに定めた定数で、選挙が実施されることとなります。

全員協議会における議員定数等の協議の過程においては、色々な提案や意見などがあり、それぞれの主張に信念を持たれ、議会の統一案としての成立には至らず、結果的に本会議において議員提案による決定という選択を全会一致で決めました。

	議員定数	選挙区数	結果
A案	18名	4	原案可決
B案	18名	1	
C案	14名	2	



議 会 豆 知 識

上島町の政務調査費は？

上島町議会では、新聞紙上等で問題になっております「政務調査費」は、一切支給されておられません。

北海道(利尻町・礼文町)から来町

去る10月23日(火)北海道の離島の利尻町・礼文町議会議員一行13名が行政視察で上島町を訪れました。

上島町が離島同士の合併であることと、合併後の旧町の現状を実際に見てみたいとの強い思いで自費による行政視察を実施したということでした。

町村合併が両町の課題となっていることから、離島同士の合併も視野に入れての訪問となりました。

上島町の現状に関心があり、議員同士の生の声をざっくばらんに伺いたいとのこと、上島町議会では、正副議長、正副常任委員長等の8名で、昼食をとりながらの十分な情報交換となりました。

一行は丁寧な感謝とお礼の言葉を残し、研修の成果をこれからの町村合併に生かしていきたいと強い決意を述べられています。



利尻町・礼文町議会議員一行13名との集合写真

議会の傍聴について

議会の傍聴はどなたでもできます。

定例議会は3月・6月・9月・12月に開催され、臨時議会は必要な都度開催されます。

なお、定例会や臨時会の開会日は、決定次第上島町ホームページの議会情報コーナーに掲載しています。

《上島町ホームページ <http://www.town.kamijima.ehime.jp>》

議会の活動 (前号掲載分以降)

月	日	活動内容	月	日	活動内容
8	22	第7回全員協議会(全員)	9	19~21	正副議長東京陳情
8	28	第3回臨時会(全員)	9	26~27	第3回定例会(全員)
8	28	第8回全員協議会(全員)	10	9~10	四国地区町村議会議長会研修(鳴門市・正副議長)
9	2	敬老会(岩城)	10	16~17	東京フォーラム及び東京陳情(正副議長)
9	4~5	第2回町議会議員研修会(砥部町15名)	10	19	第4回臨時会(17名)
9	8	敬老会(生名)	10	19	第11回全員協議会(17名)
9	9	平成19年度上島町総合防災訓練	10	23	利尻・礼文町行政視察受入(正副議長、正副常任委員長)
9	11	敬老会(弓削)	10	27~28	文化祭(弓削・生名)
9	12	第9回全員協議会(全員)	11	2~3	文化祭(岩城・魚島)
9	18	第10回全員協議会(全員)	11	15	戦没者追悼式・慰霊祭(弓削・岩城)